（参考様式第１号）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ※確認書類受付日 | 令和　　　年　　　月　　　日 | |
| ※※支払確認月日 | 令和　　　年　　　月　　　日 | |
| 所　属 | 氏　名 | 確認欄 |
|  |  |  |

都道府県広域捕獲活動支援事業における捕獲確認書

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 捕獲  従事者  氏名 | 獣種名 | 成獣・幼獣別 | 頭数 | 捕獲  月日 | 捕獲場所 （住所等） | 捕獲  方法 | 確認  方法 | 捕獲個体の処理の種類 | 確認者  所属  氏名 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

※確認書類受付日は、確認書の提出を受け付けた日とする。

※※支払確認月日は、都道府県が確認書を捕獲活動経費支払のために確認した日とする。

注１：「鳥獣の保護及び管理を図るための事業を実施するための基本的な方針」における数の調整の目的により許可された捕獲のうち、農林水産業に係るイノシシ、シカの被害防止を目的としたものに限る。

　２：「確認欄」は、確認者自らが署名又は押印を行うものとするが、「氏名」を自筆により記載した場合は、省略を可能とする。

　３：「捕獲場所」は、住所又は鳥獣保護区等位置図のメッシュ番号を記載する。なお、住所等が記載できない場合には、捕獲場所を示す地図を添付すること。

　４：「捕獲方法」は、銃又はわな（箱わな、くくりわな、その他のいずれか）を記載すること。

　５：「確認方法」は、実際に行った捕獲確認方法（「現地確認」、「搬入確認」又は「書類確認」）を記載する。また、「現地確認」による場合は、証拠物の部位の名称とともに、当該部位を「着色」したか又は「回収」したかのいずれかを記載する。

　６：埋設の場合は、「埋設」、処理加工施設への搬入は、捕獲個体を搬入した処理加工施設の種類（食肉等に利用する上で必要な施設は「食肉」、焼却施設（減容化のための施設を含む。）への搬入は「焼却」を記載する。

　７：書類確認による場合は、捕獲従事者、捕獲個体、捕獲日が確認できる写真を添付する。

　８：複数の者で捕獲した場合には、交付額の分配方法を示した書類（別紙１）を添付すること。